

秋季二大会配布資料

1. 大会要項
2. ガイドライン
3. 申し合わせ事項
4. 大会注意事項
5. 大会日程
6. 次選手待機場所について
7. 選手変更届について
8. オーダー表について
9. 代表者戦選手届について
10. 代理監督について
11. ウォーミングアップについて
12. 各種配布物・返却物について
13. 喫煙に対する指導・徹底のお願い
14. 安全性や公平性に対する指導・徹底のお願い
15. 大会使用竹刀等について
16. 竹刀確認証
17. 剣道用具確認証
18. タビ・サポーター等について
19. 提出物期限一覧

令和4年度
第71回関東学生剣道優勝大会
第48回関東女子学生剣道優勝大会
大会要項

1. 名称 第71回関東学生剣道優勝大会
第48回関東女子学生剣道優勝大会
2. 期日会場 優勝大会 9月11日(日) 会場 日本武道館 午前9時15分開会
女子優勝大会 9月19日(月・祝) 会場 武蔵野の森総合スポーツプラザ 午前10時15分開会
3. 主催 関東学生剣道連盟
4. 後援 東京都 毎日新聞社 公益財団法人日本武道館 一般財団法人東京都剣道連盟 関東学連剣友連合会
5. 試合種目 男子団体試合 女子団体試合
6. 出場資格 出場選手は、関東学生剣道連盟に個人登録している学生で登録回数4回まで(6年制大学及び6年制学部学科は6回、3年制短期大学及び3年制学部学科は3回、短期大学は2回まで)の者に限る。
但し、在学中に学生剣道大会以外の各職域大会に出場した者の出場は認めない。
7. 試合方法
 - (1) 優勝大会
 - 各大学9名(二刀使用者は2名以内)の選手を登録し、7名でチームを編成する。
但し、1チーム4名以上の選手登録に限り認める。
 - ※チームが7名に満たない場合・・・4名チームの場合、先鋒、中堅、副将、大将に選手を置く。
5名チームの場合、先鋒、次鋒、中堅、副将、大将に選手を置く。
6名チームの場合、先鋒、次鋒、中堅、三将、副将、大将に選手を置く。
 - 上位16大学と全日本出場決定戦で勝ち上がった4大学の計20大学が、第70回全日本学生剣道優勝大会[令和4年10月30日(日) 会場 大阪府・エディオンアリーナ大阪]の出場資格を得る。
 - (2) 女子優勝大会
 - 各大学7名(二刀使用者は2名以内)の選手を登録し、5名でチームを編成する。
但し、1チーム3名以上の選手登録に限り認める。
 - ※チームが5名に満たない場合・・・3名チームの場合、先鋒、中堅、大将に選手を置く。
4名チームの場合、先鋒、中堅、副将、大将に選手を置く。
 - 上位16大学と全日本出場決定戦で勝ち上がった2大学の計18大学が、第40回全日本女子学生剣道優勝大会[令和4年11月13日(日) 会場 愛知県・春日井市総合体育館]の出場資格を得る。
 - (3) 共通事項
 - 選手登録後の選手変更について
 - ①大会申し込み後に、選手が怪我や急病のためにやむなく大会に出場できなくなった場合に限り、2名まで選手変更ができる。
 - ②選手変更は所定の選手変更届及び医師の診断書を提出する。部長・監督の署名・捺印が無いものは受け付けない。
 - ③選手変更届は大会前日の16時まで、メールで提出する。
 - ④変更選手の短冊は、学連員が作成する。
 - オーダーの変更は自由とする。
 - トーナメント方式により行う。
 - 試合は試合時間を4分3本勝負とし、勝敗が決しない場合は引き分けとする。
 - チームの勝敗は勝者数により決し、勝者数が同数の場合は総本数により決する。
 - 勝者数、総本数が同数の場合、代表者戦を行う。代表者戦は4分1本勝負とし、勝敗が決しない場合は、延長戦を行う。延長戦は3分で区切り、3回毎に休憩をとる。
 - 全日本出場決定戦は、チームの勝敗が決した時点をもって当該試合を終了する。
[例：中堅戦終了時点においてチームの勝敗が決した場合、三将戦及び副将戦以降の試合は行わない。]
 - 今大会の観戦者は応援学生、選手の保護者、参加大学のOB、OG及び関係者に限る。
8. 試合・審判規則 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則、剣道試合・審判細則・新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法並びに本大会申し合わせ事項に準じて行う。
9. 審判員構成 関東学生剣道連盟加盟大学卒業生を以て構成することを原則とする。

10. 表彰 (1) 優勝大会 優勝・準優勝・3位 (2校)・敢闘賞 (4校)
(2) 女子優勝 優勝・準優勝・3位 (2校)・敢闘賞 (4校)
11. 選手登録 8月18日(木)～20日(土) オンライン登録
12. 抽選会 8月27日(土) オンライン(卒業生常任幹事立ち会いによる責任抽選)
13. 代表者会議 今大会では実施しない。
14. 監督会議 今大会では実施しないが、開会式には必ず参加する。
15. 問い合わせ先 関東学生剣道連盟
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館学生武道クラブ内
E-MAIL : kantougakuren2020@yahoo.co.jp

以上

関東学生剣道連盟大会開催ガイドライン

該当大会：第71回関東学生剣道優勝大会
第48回関東女子学生剣道優勝大会

関東学生剣道連盟

1. 基本的な考え方

- (1) 関東学生剣道連盟が主催する大会（以下、「大会」）における新型コロナウイルス感染症の予防については全日本剣道連盟『主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン』（令和3年8月2日付）を基本とする。
- (2) 関東学生剣道連盟大会開催ガイドライン（以下「本ガイドライン」）に基づき、感染予防を最大限に行うとともに、万が一感染者が発生した場合には、適切な処置を実践できる体制を構築することを目的とする。
- (3) また、本ガイドラインにより、選手及び大会関係者に対し、感染予防と発生した場合の適切な対応を周知徹底することに努める。
- (4) 本ガイドラインの対象者は大会に参加する下記の者とする。（以下「大会関係者」という。）
 - ①出場選手
 - ②監督（代理監督）
 - ③主務
 - ④審判員
 - ⑤大会役員（会長、副会長、名誉顧問・顧問、部長、大会委員）
 - ⑥学生実行委員
 - ⑦関東学生剣道連盟（以下「学連」という。）が事前に許可した者（学生係員及び報道関係者を含む）
 - ⑧観戦者（応援学生、選手の保護者、参加大学のOB、OG及び関係者に限る。）

2. 本ガイドライン制定の前提

- (1) 学連は、政府・行政・各自治体及び公益財団法人全日本剣道連盟の方針を尊重し、前提としつつ、そのうえで剣道の特性を考慮した各種対応を実施する。
- (2) 学連は、開催する自治体の剣道連盟に開催要領について事前に相談を行い、了承を得たうえで各種対応を実施する。
- (3) 学連は、感染症に関する専門家の意見を尊重し、十分な意見交換を行う。今後、政府や各自治体、専門家から、新しい見解が示された場合は、随時、本ガイドラインの見直しを行う。
- (4) 学連は、本ガイドラインの内容については、大会関係者全員に周知し、意識・知識・行動を統一し理解と協力を要請する。
- (5) 大会関係者は、次の事項を感染予防（飛沫感染予防・接触感染予防）のための基本的行動とする。
 - ①不要不急の外出を控える。
 - ②3密（密集・密閉・密接）を避ける。
 - ③マスク着用や手洗い・消毒、フィジカル・ディスタンスの確保を励行する。
 - ④窓などの開放による室内の積極的な換気を励行する。
 - ⑤健康な体を維持するため、規則正しい生活を送る。
- (6) 大会関係者に対し、飲食に関し、以下のとおり特別に注意喚起する。
 - ①大会10日前より複数での飲食は極力避ける。
 - ②やむを得ず複数で飲食する場合は、同じ方向を向いて食事するものとする。
- (7) 大会関係者の家族や近親者、報道各社の記者やスタッフにも、本ガイドライン

の趣旨の徹底について、理解と協力を求める。

3. 大会関係者の日常生活における感染予防

大会関係者は、普段の生活の中で、最大限の感染予防に努め、特に以下の点を遵守する。また、その家族、近親者においても協力を求める。

- (1) 不要不急の外出をしない。
- (2) 人との接触の機会を減らす。
- (3) 移動時には必ずマスクを着用し、乗り物等の窓を開けて換気し、会話は最小限とし、移動する交通機関において密になる状況は避ける。
- (4) 移動前後には必ず、手洗いと手指の消毒、うがいを行う。
- (5) 海外への渡航は禁止する。海外から渡航した人との面会も、入国日から14日間は禁止する。

4. 予防策の実施

- (1) マスクの着用とフィジカル・ディスタンスの確保
 - ①選手・関係者は、常時、マスクを着用して外さないことを徹底し、自分の口と鼻を守り、自身の感染と人への感染を避ける。
 - ②マスクをあごにかけた状態（口と鼻を覆わない状態）で会話を行わない。
 - ③屋外であっても、フィジカル・ディスタンス（できるだけ2メートル、最低1メートル以上）が確保できない場合は、必ずマスクを着用する。
- (2) 手洗い・消毒・うがいの実施
外出先から帰宅した際は、入室後すぐに手洗い・うがいを念入りに行う。
- (3) 屋内の常時換気
マイクロ飛沫が、屋内に長時間滞留することのないよう、窓やドアなどを可能な限り開放し、換気扇や扇風機等の積極的な使用により、空気が十分に流れるようにする。
- (4) 体温と体調の管理
 - ①大会関係者は、大会2週間前より毎日起床時と就寝時に体温を計測し、健康観察を行うこととする。
 - ②次の症状の有無を、毎日、管理し、感染予防・健康維持に役立てる。
発熱(37.5度以上)、咽頭痛・咳・嗅覚異常・味覚異常・強い倦怠感・その他の症状(頭痛・腹痛・下痢・嘔吐等)
- (5) 大会関係者は、発熱や咳、倦怠感等の特有症状を認めた場合には、医療機関の受診を速やかに行うこととする。
- (6) クラスター発生場所や3密になる場所には絶対に近づかない。
- (7) 厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を利用すること。

5. 新型コロナ感染症が疑われる場合の対応

- (1) 体温が37.5度以上の場合
大会関係者は、大会2週間前より毎日起床時と就寝時の検温で、37.5度以上であった場合および前述の症状が見受けられた場合には、医療機関を受診し、PCR検査あるいは抗原検査を受検する。検査結果が陰性であれば、出場若しくは大会参加を可能とする。
- (2) 37.0度以上の体温が2日間続いた場合
大会関係者は、大会2週間前より毎日起床時と就寝時の検温で、37.0度から37.4度が2日連続で続いた場合も、医療機関を受診し、PCR検査あるいは抗原検査を受検する。検査結果が陰性であれば、出場若しくは大会参加を可能とする。
- (3) 大会前の2週間以内に2回陰性の場合
大会前の2週間以内にPCR検査あるいは抗原検査を2回受検し、2回とも検査結

果が陰性の場合、37.0度以上になっても平常範囲内であるとして、PCR検査・抗原検査の受検は不要とし、(1)に該当しない限り出場若しくは大会参加を可能とする。

(4) 他の病気が明らかな場合

37.0度以上であって、既往歴等より他の病気の可能性が高い場合は、まず掛かりつけの病院を受診し、発熱の原因が明確な場合は、PCR検査・抗原検査は不要とし、出場若しくは大会参加を可能とする。

(5) 原因が断定できない場合

原因が断定できないときは、PCR検査あるいは抗原検査を受検し、検査結果が陰性の場合、出場若しくは大会参加可能とする。

6. 大会関係者が罹患もしくは罹患疑いと診断された場合の対応

(1) 医師より罹患もしくは罹患疑いと診断された場合は、医師・保健所の指示に従って対応する。

(2) 学連事務局へ至急連絡し、連盟は感染症の専門家に相談し、指示を仰ぐ。

(3) 大会会場への入場は禁止する。ただし、PCR検査または抗原検査において2回続けて陰性の判定が出たことを確認した場合はこの限りではない。

(4) 大会後に感染が発覚した場合の対応

①大会終了後7日間以内に感染が発覚した大学は、学連事務局へ連絡する。

②学連は、大会会場及び保健所に連絡をし、濃厚接触者の範囲等を確認し、該当大学に直ちに連絡する。

③学連は、全日本学生剣道連盟及び全日本剣道連盟並びに大会会場の剣道連盟に報告する。

④感染が発覚した大学は、全日本剣道連盟の感染報告事項を遵守し、「PCR陽性者が出た場合、同じ稽古に参加していた人たち（見学者を含む）には全員、PCR検査あるいは抗原検査を受けるように指示する。そして、その結果を全剣連の新型コロナウイルス報告システムを用いて報告する。

(https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdTeD0AC0ehwGm1_EQ5zv0H9rN_ZXQiS2NGrVODxIRTKhFGVw/viewform)

7. 同居の家族等が罹患もしくは罹患疑いと診断された場合の対応

(1) 保健所により、大会関係者が同居家族等、感染者の濃厚接触者と判断された場合は、保健所の指示に従う。

(2) 当該者が濃厚接触者ではないと判断された場合は、対象となる同居家族等とは居住を別にすることが望ましい。

(3) 当該者が濃厚接触者ではないと判断された場合も、当人によるPCR検査または抗原検査を行い、陽性の場合には前述(1)の対応を行う。

8. 主催者対応

(1) 大会関係者には、大会会場に来場するにあたり必ずマスクを着用させる。

(2) 大会会場入口にて検温を実施し37.5度以上あるものは入場させない。

(3) 大会会場入口に消毒液を設置し、入場時に消毒を徹底させる。

(4) ドアは可能な限り開放し風通しを確保する。

(5) 外気からの風通しを十分に確保できない箇所は、空調の強化のほか窓や入り口を開放するなど、空気が十分に流れるような対策を実施する。

(6) 更衣室はスペースを確保し、間接的な接触を解消できるようにする。

(7) 更衣室は、ドアや窓を開け、風通しを確保する。

(8) トイレには消毒液を設置する。

- (9) 待機場所では、選手がフィジカル・ディスタンスを保てるよう座席の間隔が取れるよう指定する。
- (10) 大会関係者の昼食は、同一方向を向いて行う事とし、相互に十分な距離をとって食事するよう場所の指定を行う。
- (11) 使用備品（マイク等）は、使用する度に消毒する。
- (12) 報道関係者には事前に登録制とし、当日入場時に入場許可書を発行する。

9. 竹刀検査方法

- (1) 検査は、竹刀検査所にて行う。
- (2) 検査担当係員は使い捨て手袋及びマスクを着用する。
- (3) その他、大会要項及び竹刀検査要領を参照する。

10. 大会当日の注意

- (1) 大会役員・審判員・学生実行委員・学生係員はマスクを着用する。
- (2) 大会役員・学生実行委員・学生係員は必要以上に選手と接触しないようにする。
- (3) 声援は、飛沫感染や濃厚接触の恐れがあるため、禁止し注意喚起する。

11. 大会当日の各参加大学の注意

- (1) 時間に余裕を持って行動する。
- (2) 大会会場には、速やかに入場し、試合終了後は速やかに退場すること。
- (3) 大会会場への入退場については、密を避けるため各大会注意事項で示す指定した方法で行うこと。
- (4) 更衣は可能な限り小人数で行い、会話はしないで時間短縮に努める。
- (5) 更衣室は更衣のみとし、更衣が終わったら速やかに退出する。
- (6) 観覧席の各大学指定席を待機場所とする。
- (7) 各大学は指定席にて待機し、不必要に動かない。試合終了後は速やかに指定席に戻る。敗退後は速やかに大会会場から退場する。
- (8) 食事は、指定席で行い、それ以外で食事をしない。
なお、ゴミ等は各自で持ち帰ること。
- (9) 食事中の会話は行なわない。食事が終了したら直ちにマスクを着用する。

12. 試合会場での注意

- (1) 試合会場には、選手・監督（代理監督）・主務のみが入場できる。
- (2) 試合会場では常にマスクを着用し、決められた導線のみを通行する。
- (3) 必要以上に他人と接触しない。

13. 試合の注意

- (1) 面マスク、シールドを着用する。
- (2) マスクは、口と鼻を確実に覆う。ただし、持病等により鼻を出す必要がある場合は事前に届け出ること。
- (3) シールドは口元を覆うものとし、形状の指定はしない。
- (4) その他、大会要項を参照。

大会申し合わせ事項

1. 選手登録について

- ① 試合に出場する選手は指定された期日までに所属連盟に選手登録をしなければならない。
- ② 不正登録により選手資格を得た者はこれを取り消す。

2. 抽選会について

今大会の抽選は、大会実行委員による抽選とし、卒業生常任幹事立ち会いによる責任抽選とする。

3. 名札について

大学名及び個人名を記入した名札を着用しない選手は出場できない。同じ大学に同姓者がいる場合は、苗字の右下に名前の1文字を入れること。なお、上記の該当する選手が発覚した場合は、不正用具使用者として扱い、その試合を負けとし、相手に2本を与え、既得本数及び既得権を認めない。また、当該選手のその日の大会出場は認めない。

4. 竹刀・鍔について

- ① 竹刀検査は、所定時間内に竹刀検査所において検査済みシールの貼付を受けること。
- ② 竹刀検査は、別紙の「竹刀検査要領」に沿って実施する。
- ③ 竹刀は、柄に大学名・名前のみを明記したものとし、検査の対象は一人3本(二刀の場合、大小各3本)までとする。
- ④ 鍔は、皮革又は化学製品の円形のものとし、直径は9センチメートル以下とする。なお、鍔止めを必ず使用し、鍔を正しく所定の位置に固定すること。
- ⑤ 規格外竹刀・不正竹刀の使用者は、その試合を負けとし、相手に2本を与え、既得本数及び既得権を認めない。また、当該選手のその日の大会出場は認めない。
- ⑥ 規格外と判断された竹刀は、1回戦終了後に当該選手が竹刀検査所にて受け取ることとする。

5. サポーター等の使用について

- ① サポーター等の使用は、医療上必要と認められる場合に限り、見苦しくなく、かつ相手に危害を加えない範囲において、これを認める。
- ② 使用する者は、予め使用品をつけた状態で所定の許可証をタビ・サポーター等許可所に提示し許可を得ること。テーピングの使用については、許可証の提出は不要とする。なお、使用できるタビ・サポーター等は布製のみ許可する。また、新たに必要になった場合は、当該試合場の審判主任の許可を得ること。
- ③ タビ・サポーター等を許可なく使用した場合は、不正用具使用者として扱い、その試合を負けとし、相手に2本を与え、既得本数及び既得権を認めない。また、当該選手のその日の大会出場は認めない。

6. 監督会議について

今大会では開催しない。ただし、選手と監督は開会式に参加しなければならない。

7. 剣道用具について

- ① 面については、肩関節の保護ができる面ぶとんの長さが確保されていること。面紐の長い場合は切断する。面紐の結び目の位置は目の後方の後頭部中央部分とし、大会中に結び目の位置が安全性に支障があると判断した場合は締め直しをする。
- ② 小手ぶとんは、前腕の1/2以上を保護しているものとし、えぐり(クリ)の深さは2.5センチメートル以内とする。
- ③ 剣道着の袖の長さは、自然に構えた状態で「肘」が完全に隠れて袖口から露出しないものとする。但し、袖が小手ぶとんにかからない程度とする。

8. その他

- ① 監督不在の場合は、代理監督を1名立てることができる。但し、代理監督は本部に届けられている者に限る。
- ② 選手の付き添いは、監督と代理監督のいずれか1名と主務とする。各大学のIDカードは監督用1枚と主務用1枚とする。(IDカードをつけていないものは試合会場への入場を禁止する。)
- ③ 代表者戦は4分1本勝負とし、勝敗が決しない場合は、延長戦を行う。延長戦は3分で区切り、3回毎に審判長・審判主任の指示により、休憩時間を取る。選手は立ったまま納め控え席で面を取り、休憩を取る。その間、監督からの指示等は禁止する。5分経過後、審判主任の指示により試合を再開する。
- ④ 頭髪が長い場合は、髪を束ねて、背中が目印にかからないようにする。
- ⑤ ミサंगा、パワーバランスなどの剣道に必要なものは身に付けない。

9. 大会要項並びに大会申し合わせ事項等の一部に違反し、当連盟が不適格とみなした選手は、その時を以て本大会の出場を停止する(既得本数、既得権は認めない)。なお、出場停止となった選手の対戦者は不戦勝とする。

以上

大会注意事項

1. 日本武道館では、選手・主務・部長・監督（代理監督）は西正面玄関において入退場を行い、応援学生、選手保護者、出場大学OB・OG及び関係者は2階南西玄関において入退場を行うものとする。

武蔵野の森総合スポーツプラザでは、正面口において入退場を行うものとする。

日本武道館では、選手・主務・部長・監督（代理監督）は1階観客席とする。応援学生、選手保護者、出場大学OB・OG及び関係者は2、3階観客席とする。

武蔵野の森総合スポーツプラザでは、選手・主務・部長・監督（代理監督）は3階観客席とする。応援学生、選手保護者、出場大学OB・OG及び関係者は4階観客席とする。

両会場において、階を跨いで移動は禁止とする。

2. 入場時にはフィジカル・ディスタンスをとり、検温を受け、手指消毒し、受付に確認票を提出する。
3. 剣道用具等確認証は主務が入場時、受付に提出する。
4. 入場者は所定の場所以外への移動は禁止する。
5. 選手及び監督(代理監督)は開会式に必ず参加し、無断欠席は認めない。
6. 開会式の進行を簡潔にするため選手は指定された場所に速やかに集合すること。
7. 開会式・閉会式、式中は静粛にすること。
8. 竹刀検査は試合前に行う。
9. 館内でのフラッシュ撮影等は禁止する。
10. 応援は座ったまま拍手でのみ行い、声援は禁止する。
11. 試合場へは役員・監督（代理監督）・選手・主務等所定のIDカードをつけた者以外の入場を禁止する。
12. 指定された席以外のロビー・通路等での場所取りは禁止する。また、車椅子席周辺の場所取り及び荷物置きは禁止とする。
13. 喫煙は指定場所のみとし、喫煙マナーを遵守すること。
14. 館内のコンセントの使用は禁止する。（使用している場合は没収する）
15. 飲食は観客席のみとする。更衣室での飲食は禁止する。
16. ゴミはすべて持ち帰る。
17. 試合場・アップ会場以外（廊下など）の裸足移動を禁止する。
18. 違法駐車に対しては厳しく対処する。
19. 貴重品・手荷物等については各自責任をもって管理すること。大会開催中の盗難・紛失に関しては、当連盟は責任を負わない。
20. 今大会において部旗掲示は行わない。
21. 日本武道館並びに武蔵野の森総合スポーツプラザの入場制限を遵守し、三密を防ぐため敗退した大学は速やかに退館し帰宅する。但し、全日本学生剣道優勝大会・全日本女子学生剣道優勝大会に出場決定した大学は閉会式に参加する。
22. 大会終了後は、会場入口及び敷地周辺では停滞しないよう、速やかに解散すること。車道や歩道での待ち合わせは禁止する。

※大会要項・申し合わせ事項・注意事項を遵守しない大学に対しては、関東学生剣道連盟主催の次大会への出場を停止するなど厳正に対処する。

以上

第 71 回関東学生剣道優勝大会
第 48 回関東女子学生剣道優勝大会

大会日程

第 71 回関東学生剣道優勝大会
令和 4 年 9 月 11 日 (日)
会場 日本武道館

8:00 開場

選手・監督・主務・役員・審判員入場	8:00～
観戦者入場 (学生・OB・保護者)	8:30～
審判会議 (中道場棟 1F 控室 1・2・3)	8:30
ウォーミングアップ (大道場・中道場)	8:00～8:50
審判委員会より試合における諸注意	9:00

9:15 開会式

国歌斉唱	
優勝旗・優勝杯返還、レプリカ授与 会長挨拶・審判長注意	9:15～9:35
試合開始 (一・二回戦)	9:50～
三回戦	13:20～
四回戦及び全日本出場決定戦	14:30～
準々決勝	16:15～
準決勝	16:50～
決勝	17:30～
閉会式・表彰	18:10～

18:40 終了 (予定)

第 48 回関東女子学生剣道優勝大会
令和 4 年 9 月 19 日 (月・祝)
会場 武蔵野の森総合スポーツプラザ

8:30 開場

選手・監督・主務・役員・審判員入場	8:30～
観戦者入場 (学生・OB・保護者)	9:30～
審判会議 (会議室 C・D)	9:00
ウォーミングアップ (アリーナ・サブアリーナ)	8:45～9:45
審判委員会より試合における諸注意	10:00

10:15 開会式

国歌斉唱	
優勝旗・優勝杯返還、レプリカ授与 会長挨拶・審判長注意	10:15～10:35
試合開始 (一・二回戦)	10:50～
三回戦	12:10～
四回戦及び全日本出場決定戦	13:10～
準々決勝	14:40～
準決勝	15:10～
決勝	15:40～
閉会式・表彰	16:10～

16:40 終了 (予定)

秋季二大会

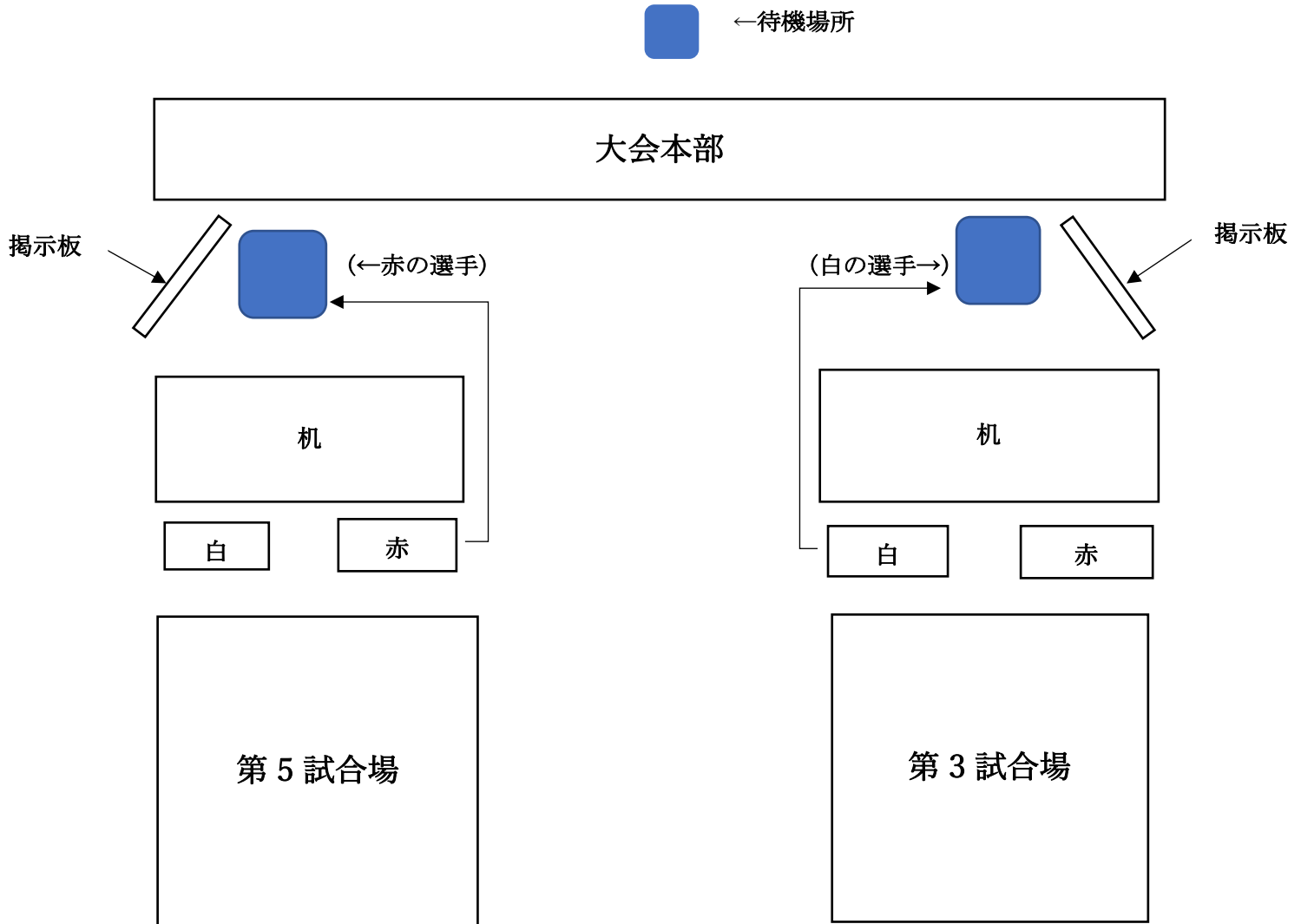
第3試合場 白・第5試合場 赤

控選手の待機場場について

次に出場する選手は審判長・副審判長の視界の妨げにならないように、各試合場の審判員席後方の掲示板側で待機する。

待機場所は、以下の通り

【日本武道館・武蔵野の森総合スポーツプラザ】



第71回関東学生剣道優勝大会
選手変更届

大会会長 殿

令和4年 月 日

大学名

大学

部長氏名

印

監督氏名

印

登録選手氏名	変更選手氏名	学年	学部	出身校	段位	変更理由
ふりがな	ふりがな					
		年			段	
ふりがな	ふりがな					
		年			段	

第48回関東女子学生剣道優勝大会
選手変更届

大会会長 殿

令和4年 月 日

大学名

大学

部長氏名

印

監督氏名

印

登録選手氏名	変更選手氏名	学年	学部	出身校	段位	変更理由
ふりがな	ふりがな					
		年			段	
ふりがな	ふりがな					
		年			段	

第71回関東学生剣道優勝大会

※審判主任に提出して下さい。決勝戦は審判長に提出して下さい。

オーダー表

大学

(第 試合場 第 試合 対戦大学 : _____ 大学)

	先鋒	次鋒	五将	中堅	三将	副将	大将
選手名							

第71回関東学生剣道優勝大会

※審判主任に提出して下さい。決勝戦は審判長に提出して下さい。

オーダー表

大学

(第 試合場 第 試合 対戦大学 : _____ 大学)

	先鋒	次鋒	五将	中堅	三将	副将	大将
選手名							

※このオーダー表を、各大学で事前にコピーして、使用してください。

第48回関東女子学生剣道優勝大会

※審判主任に提出して下さい。決勝戦は審判長に提出して下さい。

オーダー表

大学

(第 試合場 第 試合 対戦大学 : _____ 大学)

	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
選手名					

第48回関東女子学生剣道優勝大会

※審判主任に提出して下さい。決勝戦は審判長に提出して下さい。

オーダー表

大学

(第 試合場 第 試合 対戦大学 : _____ 大学)

	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
選手名					

※このオーダー表を、各大学で事前にコピーして、使用してください。

代表者戦 選手届

第71回関東学生剣道優勝大会

※審判主任に提出して下さい。決勝戦は審判長に提出して下さい。

3分以内に提出すること

大学	
選手名	

----- 切り取り -----

代表者戦 選手届

第71回関東学生剣道優勝大会

※審判主任に提出して下さい。決勝戦は審判長に提出して下さい。

3分以内に提出すること

大学	
選手名	

代表者戦 選手届

第48回関東女子学生剣道優勝大会

※監督が審判主任に提出して下さい。決勝戦は審判長に提出して下さい。

3分以内に提出すること

大学	
選手名	

..... 切り取り

代表者戦 選手届

第48回関東女子学生剣道優勝大会

※監督が審判主任に提出して下さい。決勝戦は審判長に提出して下さい。

3分以内に提出すること

大学	
選手名	

代理監督届

大会会長 殿

第71回関東学生剣道優勝大会において、監督 _____ に代わり

代理監督 _____ に変更いたします。

令和4年9月11日（日）

大学

代表者氏名
(部長または監督)

印

代理監督届

大会会長 殿

第48回関東女子学生剣道優勝大会において、監督 _____ に代わり

代理監督 _____ に変更いたします。

令和4年9月19日（月）

大学

代表者氏名
(部長または監督)

印

ウォーミングアップについて

<9/11(日)男子優勝大会：日本武道館>

ウォーミングアップ

8時～8時50分：大道場、中道場にて1～3試合目までの大学

開会式後 ：中道場にて4試合目以降の大学

試合開始後は地下2Fの中道場をウォーミングアップ会場として開放。

<9/19(月・祝)女子優勝大会：武蔵野の森総合スポーツプラザ>

ウォーミングアップ 8時45分～9時45分

メインアリーナ：1～4試合目までの大学

サブアリーナ ：5試合目以降の大学

試合開始後には1Fのサブアリーナをウォーミングアップ会場として開放。

以上

令和4年8月3日

各大学主務 各位

関東学生剣道連盟
大会実行委員長 安徳颯人

各種配付物・返却物について

・プログラム、ID ケースの配布

- ① プログラム：各大学へ郵送にて配布いたします。
- ② IDカード：大会当日、受付にて配布いたします。

・IDカードの返却

返却場所：受付

返却時間：退館時

令和4年8月3日

加盟大学剣道部
部長・監督 殿
主将・主務 殿

関東学生剣道連盟
会長 佐藤成明

喫煙に対する指導・徹底のお願い

先日の全日本学生・女子学生剣道選手権大会における喫煙マナーについて、日本武道館より嚴重注意を受けている状況です。

特に、正面西口玄関前駐車場トイレ裏での喫煙が発見され、北の丸公園管理事務所(警備)から火事の危険に対して、日本武道館へ嚴重注意がなされております。また、喫煙場所における指定範囲外での喫煙や、吸い殻の投棄なども併せて注意を受けています。これらを踏まえ、喫煙マナー違反を発見次第、対象大学へ厳しい措置で対処します。また、今後も喫煙マナーの改善が見られない場合は敷地内全て禁煙とすることを検討しておりますことをお含みおき下さい。

つきましては、各大学の部長・監督、主将・主務におかれましては、喫煙マナーに関して下記のとおり、ご指導の徹底をよろしくお願いいたします。

記

喫煙所指定場所 (会場略図のとおり)

日本武道館 1カ所 館内禁煙 東口玄関脇の一部	武蔵野の森総合スポーツプラザ 1カ所 館内禁煙 会場入口広場付近の一部
-------------------------------	---

嚴重注意

日本武道館

- 注意1. 正面西口玄関前駐車場トイレ付近での喫煙厳禁。(北の丸公園管理事務所管轄)
- 注意2. 南西口駐車場付近での喫煙厳禁。
- 注意3. 東口玄関喫煙所路面に吸い殻を捨てず、必ず吸い殻入れに捨てること。

武蔵野の森総合スポーツプラザ

- 注意1. 最寄り駅から会場への道中における喫煙厳禁。
- 注意2. 喫煙所前のベンチにおける喫煙厳禁。
- 注意3. 喫煙所付近における喫煙厳禁。必ず喫煙所内で喫煙を行うこと。

以上

2022年8月3日

加盟大学剣道部
部長・監督 殿
主将・主務 殿

関東学生剣道連盟
会長 佐藤成明

安全性や公平性に対する指導徹底のお願い

各大学の部長・監督・主将・主務におかれましては剣道の安全性や公平性の重要性を鑑み、下記の通り各大会並びに通常の稽古において、安全で公平な剣道用具の使用を心がけるようお願い申し上げます。

記

1. 面紐の結び目の位置及び面ぶとんの長さ



(1) 結び目の位置は目の後方の後頭部中央部分とする。

※上部過ぎる又は下部過ぎて安全性に支障があると判断した場合は、つけ直しをさせる。

(2) 面ぶとんは肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩和能力があるものとする。

2. 剣道着の袖の長さ



(1) 剣道着の袖は、肘関節を保護する長さがあるものとする。

但し、袖が小手ぶとんにかからない程度とする。

3. 小手ぶとん

(1) 小手は、前腕（肘から手首の最長部）の2分の1以上を保護し、小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩和能力があるものとする。

(2) 小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さについては、小手ぶとん最長部と最短部の差が2.5センチメートル以内とする。

以上

大会使用竹刀等について

- 1) 所定の時間内に竹刀検査所において検査を受け、規格内の竹刀には『検査済シール』を貼付して使用を認める。

男子大会	8:00 開始	場所：大道場
女子大会	8:30 開始	場所：メインアリーナ

- 2) 規格外竹刀の使用者は、その試合を二本負け（一本取得している場合は取り消し）とする。また、その選手はその日の大会の出場は認めない。
- 3) 竹刀は、柄に大学名と氏名のみを明記したものとし、検査の対象は一人3本（二刀の場合は大小各3本）までとする。
- 4) 規格外竹刀の返却は、1回戦終了後から13時まで竹刀検査所で行う。
- 5) 弦・中結いの緩みや、中結いの位置が不適切な場合、再検査とする。

竹刀検査は、次の通り実施する。

【竹刀確認証の取り扱い】

竹刀検査員は大会で使用する竹刀の確認証の提出を受け、内容の不備等がないことを確認し、竹刀の計量・検査を行う。

【検査】

- ①竹・付属品の破損や中結いの位置・緩み・竹刀の隙間 ※1



- ②竹刀の長さ



- ③先革先端部の直径値及び長さ



- ④ちくとう部の最小直径値



- ⑤竹刀の重量 ※2



上記の①～⑤の検査項目で規格外と判断された竹刀は竹刀検査所預かりとする。

- ⑥規格内の竹刀には、『検査済シール』を貼付する。

※1 目視により、安全性を著しく損なう加工、形状の変更がなされていないか、安全性を損なう不自然な隙間や大きな隙間がないか検査する。

※2 市販されている計測器の精度保証は、±3グラムとする。

大会における先革・竹刀・鏢規格

1 先革の規格

	直径 (男子)	直径 (女子)	長さ (男女共通)
一刀	26ミリメートル以上	25ミリメートル以上	50ミリメートル以上
二刀 大刀 小刀	25ミリメートル以上 24ミリメートル以上	24ミリメートル以上 24ミリメートル以上	50ミリメートル以上 50ミリメートル以上

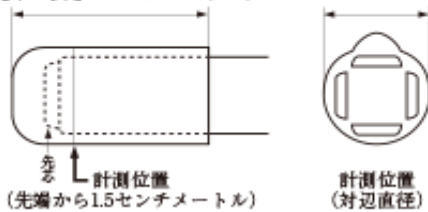
※先革先端部の最小直径

2 ちくとう部の規格

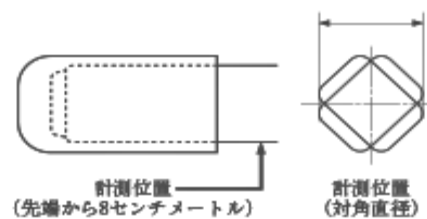
	直径(男子)	直径(女子)
一刀	21ミリメートル以上	20ミリメートル以上
二刀 大刀小刀	20ミリメートル以上 19ミリメートル以上	19ミリメートル以上 19ミリメートル以上

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>



3 竹刀の長さ及び重量

	長さ (男女共通)	重量 (男子)	重量 (女子)
一刀	120センチメートル以下	510グラム以上	440グラム以上
二刀 大刀 小刀	114センチメートル以下 62センチメートル以下	440グラム以上 280～300グラム内	400グラム以上 250～280グラム内

※カーボン竹刀も同基準

4 鏢の規格

皮革、または化学製品の円形のものとし、直径9センチメートル以下

以上

竹刀確認証

(竹刀を確認の上、この確認証を竹刀検査員へ提出ください)

関東学生剣道連盟

大会実行委員長 殿

本大会出場選手に関する下記の項目を確認いたしました。

令和 4 年 月 日

大学

監督氏名

印

- 長さは適正である。
- 重量は足りている。
- 先革先端部最小直径値は適正である。
- 中結は適切な位置に固定されている。
- 竹と竹の間に極端な隙間がない（竹刀の柄を保持して、弦側から竹刀を見て一部でも反対側が透けて見えない）。
- 破損やササクレがない。
- 滑り止めがついている柄革は使用していない。
- 弦は色が単色で、適正に締められている。
- 柄革に大学名・名前のみが明記されている。
- その他、全日本剣道連盟の規格に外れていない。

出場選手 名 確認本数 本

剣道用具等確認証

(出場選手の剣道用具等について確認の上、入場時にこの確認証をご提出ください)

関東学生剣道連盟

大会実行委員長 殿

本大会出場選手に関する下記の項目を確認いたしました。

令和 4 年 月 日

大学

監督氏名

印

- 面について
 - 肩関節の保護ができる面ぶとんの長さが確保されている。
 - 面紐の長さは適切である。
 - 面紐は目の後方で締められている (位置が不適切な場合、締め直しとなる場合があります)。
- 剣道着の袖の長さについて
 - 自然に構えた状態で、「肘」が完全に隠れて、袖口から露出していない。
 - 袖が小手ぶとんに著しくかかっていない。
- 小手ぶとんについて
 - 小手ぶとんは、前腕の 1/2 以上を保護している。
 - えぐり (クリ) の深さは 2.5 センチメートル以内である。

以上

*面ぶとん・剣道着の袖・小手ぶとんの長さが不適切であった場合、試合終了後厳重注意とする。

タビ・サポーター等 使用許可について

タビ・サポーター等使用許可証の取扱いについては、下記のとおり。

記

- ・タビ・サポーター等使用許可所

竹刀検査所の隣で行う。

男子大会： 8時～開会式まで

女子大会： 8時30分～開会式まで

1. タビ・サポーター使用者はタビ・サポーター等使用許可証を許可所へ提出すること。
2. 係員により許可・不許可を判断する。
3. 押印した許可証を必ず試合開始前に審判主任に提出すること。

※試合場を移動した場合、各試合場の学生主任が許可証の移動を行う。

4. 大会中の事故等により、急遽上記の時間外にタビ・サポーター等が

必要になった場合は、当該試合場の審判主任に使用許可証を提出し、許可を得ること。

以上

令和4年度秋季二大会
タビ・サポーター等使用許可申請(団体戦)

大学

責任者氏名

印

(監督・代理監督)

氏名	使用箇所	使用物	使用理由	許可印

上記選手の使用を許可する

令和4年 月 日

使用許可者氏名

- ※タビ・サポーター等使用許可所に、本書を持参し、使用者は使用物を着装すること。
- ※第1試合前に当該試合場審判主任に提出すること。
- ※試合場を移動する場合は、試合場の学生主任が許可証の移動を行う。

提出物期限一覧

※提出物冒頭の番号は資料番号

3.大会入場者確認票	大会当日
9.選手変更届	大会前日 16 時までにメール提出 touroku@kantougakuren.jp
10.オーダー表	大会当日
11.代表者戦選手届	大会当日
12.代理監督届	8月28日(日)までにメール提出 touroku@kantougakuren.jp
19.竹刀確認証	大会当日
20.剣道用具確認証	大会当日
21.タビ・サポーター等使用許可証	大会当日

以上、期限厳守をお願いいたします。

関東学生剣道連盟